

令和5年8月29日

2年A組、D組保護者 様

瀬戸内市立牛窓中学校

校長 光信 謙吾

令和5年度学力・学習状況調査について

残暑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育のため格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、1学期に実施しました岡山県学力・学習状況調査につきまして、次の点にご留意ください。

- 1 学力・学習状況調査は、あくまで前年度までの学習内容を4月の時点で調査したものであること
- 2 様々な学力の一側面であること
- 3 通知票の評価・評定には無関係であること
- 4 この分析結果に基づいて今後の学習指導を進めて参りますが、ご家庭でもご協力をお願いしたいということ

次に、各教科の概要及び今後の取組を簡単にお知らせします。

【学力調査】

国 語	文学や論説文の他、聞き取りや報告文も出題されてきました。自分の考えを明確にして書くことにやや課題がありました。国語で正確に理解し、根拠を明確にして意見表明する力の育成に努めて参ります。
数 学	計算や図形などの領域の他、身近な事象を統計的な視点から説明する問題も出題されてきました。既習事項を学び直しながら学習を進めるとともに、数学を生活場面に活かす視点も育てて参ります。
英 語	3割がリスニング、その他は道案内、スケジュール、食事メニューなど、身近な題材から出題されてきました。TT（ALTを含む3人の英語教師）やICT（情報通信技術）の有効活用によって、個別最適な学びに努めて参ります。

【質問紙】

調査には、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」で回答しています。（4件法）

「今住んでいる地域の行事に参加している」に「当てはまる」と答えた生徒は、県より20%以上多くいました。この点を生かして、本校では3学年を貫くPBL（課題解決型学習）において、地域社会とのつながりの中で挑戦する場や機会を意図的・計画的に設定し、生徒が自らやってみたいと思える「夢」や「なりたい自分」を見つけられるよう努めて参ります。

一方で、「授業では、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができていた」に「当てはまる」と答えた生徒は、残念ながら県より20%近く少ない値でした。この点を大いに反省し、岡山型学習指導のスタンダードを参考に全職員で早急に手立てを講じて参ります。

